## インフラ復旧の工程表 (浪江町 抜粋)

								<b>→</b> 1	→ 工程が見込めるもの				工程が現	時点で見	込みにくい	もの		平成25年4月末現在
事業	整備主体	被災/稼働状況	H24年度までに 実施したこと	H25年度に 実施すること	H25年度				H26年度					H2	7年度		H28年度	備考・ポイント等
Ada ada					4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	以降	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
漁港 漁港施設災害復旧事業 請戸漁港	県	漁港施設(防波堤・岸壁 等) の地盤沈下や崩壊	災害査定に必要な調査及び設計の完了 また、一部施設を除き災害査	早期に災害査定を完了し、町 や漁業関係者と調整を図りな がら復旧工事を実施	査定	工事									H27	年度完了		平成27年度の完了を目指す。
道路	1		また、 即帰設を除さ及音目	から後旧工事を失心														
町道小熊田宮田線他3路線 (避難指示解除準備区域)	浪江町	盛土材液状化、道路陥没、 積ブロック亀裂、橋梁段差	測量設計を完了	除染を含めた線量の減衰を見極めながら査定を完了し、工事 に着手	査定		工事					>						放射線量の低い東側から順に復 旧を進める。平成27年度の完了を 目指す。
町道大町作内線他1路線	浪江町	橋脚座屈	未着手	除染を含めた線量の減衰を見 極めながら査定を完了し、工事 に着手	調査			>	査定	河川協	議・工事				H27年度完	:7 <b>&gt;</b>		放射線量の低い東側から順に復 旧を進める。H25年度に調査予 定。H26年度当初に査定を受け、 河川協議、工事予定。平成27年度 の完了を目指す。
町道江添芦ノ迫線他6路線 (居住制限区域)	浪江町	橋梁段差、道路亀裂、路肩 崩壊	未着手	除染を含めた線量の減衰を見 極めながら査定を完了し、工事 に着手	調査			>	查定		工事				H27年度完	:7 <b>&gt;</b>		放射線量の低い東側から順に復 旧を進める。H25年度調査予定。 H26年度当初に査定を受け工事予 定。平成27年度の完了を目指す。
町道(津波被災地域)	浪江町	道路流出	未着手	未定														まちづくり計画に合わせて復旧予 定。
町道鳥喰後畑線他3路線 (帰還困難区域)	浪江町	積ブロック亀裂、擁壁倒壊、 路肩崩壊、盛土材液状化、 道路陥没	未着手	未定														線量の減衰状況を見極めながら0 旧に着手する。
上水道								į		ļ	ļ			ļ	ļ			
苅野取水場等 (送水・配水設備、基幹配水 管)	浪江町	一部復旧(停止中) テレメーター故障	調査実施済み	修繕工事を実施		修繕工	事											防火用水の確保のため、基幹配力 管の復旧を先行する。
谷津田取水場等 (送水·配水設備、基幹配水 管)	浪江町	一部復旧 水位計故障	調査・修繕工事実施済み	-														平成24年度完了
小野田取水場等 (送水·配水設備、基幹配水 管)	浪江町	一部復旧(停止中)	未着手	除染を含めた線量の減衰を見 極めながら、修繕工事を実施			修繕工	<b>*</b>	水管橋	本復旧		>						防火用水の確保のため、基幹配7 管の復旧を先行する。橋梁添架管 本復旧については、橋梁復旧にエ 程を合わせる。
大堀取水場等 (送水·配水設備、基幹配水 管)	浪江町	未調査	未着手	調査・修繕工事を実施		,	調査·修	繕工事										防火用水の確保のため、基幹配2 管の復旧を先行する。
配水管調査修繕 (避難指示解除準備区域)	浪江町	未調査	未着手	調査を実施				調査	查定				復旧工	事		>		低線量又は除染済み地区から復旧を進める。下水道復旧工事等と工程を合わせる。平成27年度の完了を目指す。 ※配水管等の復旧に合わせて原則各世帯である。 が使えるまで、町内の各地区で水が使えるまで、町内の数か所での鈴水を率飾する。
配水管調査修繕 (居住制限区域)	浪江町	未調査	未着手	未定						調査・首	<u>定·本復</u>	但工事				>		の絵水を実施する。 低級量又は除染済み地区から復 旧を進める。下水道復日工事等と 工程を合わせる。平成27年度の学 了を目指す。 配水管等が復旧に合わせて原則 各世帯で自宅から水道への接続 の復旧を行う。町内の各地区で水 が使えるまで、町内の数か所での 給水を実施する。
災害公営住宅·防災集団移 転住宅地区内配水管	浪江町	新規事業	未着手	未定					調査・説	計・工事							>	災害公営住宅(町内)、防災集団 移転と工程を合わせる。 配水管等が復旧に合わせて原則 各世帯で自宅から水道への接続 の復旧を行う。 平成28年度の完了を目指す。
配水管調査修繕 (帰還困難区域)	浪江町	未調査	未着手	未定														線量の減衰状況を見極めながら他 旧に着手する。

事業	整備主体	被災/稼働状況	H24年度までに 実施したこと	H25年度に 実施すること		H2	5年度			H2	6年度		H27年度				H28年度	備考・ポイント等
					4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	以降	連右・ハイント寺
公共下水道																		
公共下水道事業 浪江浄化センター	浪江町	停止中 敷地全体の地盤沈下 配管断裂	一次調査実施済み	平成25年中に二次調査・設計 を実施。除染を含めた線量の 減衰を見極めながら、査定を受 ける		査・設計	<b></b>	查定 	工事							>	<u>,                                    </u>	- 平成27年度の完了を目指す。
公共下水道事業 管渠	浪江町	液状化によるマンホールの 浮き上がりや、管路破断に よると思われる道路面の沈 下多数あり	一次調査実施済み	平成25年中に二次調査・設計 を実施。除染を含めた線量の 減衰を見極めながら、査定を受 ける		査・設計	<b></b>	査定 ●>	工事							>		低線量地区から順に復旧を進める。 不成27年度の完了を目指す。 公共下水道復旧に合わせて、自宅 敷地内における自宅から下水道へ の接続の復旧を行う(原則として各世帯で対応)。
公共下水道事業 放流管	浪江町	地盤沈下に伴う緩勾配化に より流下能力減少 管破断の可能性あり	一次調査実施済み	平成25年中に二次調査・設計 を実施。除染を含めた線量の 減衰を見極めながら、査定を受 ける		査・設計	<b></b>	査定	工事							>		によっている。 放流口位置を含めた放流施設に 関する検討が必要。本検討の結果 によって工程が遅れる可能性がある。 平成27年度の完了を目指す。
(新規)災害公営住宅·防災集 団移転住宅地区内管渠	浪江町	新規事業	未着手	未定					調査・	設計・工事	<b>.</b>				<b>.</b>		>	新規建設先が下水道地区の場合、災害公営住宅(町内)、防災集団移転と工程を合わせて建設する。 ので、変更である。 で成28年度の完了を目指す。
農業集落排水																		
農業集落排水事業 高瀬浄化センター	浪江町	停止中 敷地全体の地盤沈下 屋内地下施設水没	一次調査実施済み	平成25年中に二次調査・設計 を実施。除染を含めた線量の 減衰を見極めながら、査定を受 ける	二次調	査·設計	<b></b>	査定	工事							>	•	平成27年度の完了を目指す。
農業集落排水事業 管渠	浪江町	液状化によるマンホールの 浮き上がりや、管路破断に よると思われる道路面の沈 下多数あり	一次調査実施済み	平成25年中に二次調査・設計 を実施。除染を含めた線量の 減衰を見極めながら、査定を受 ける	二次調	査・設計	<b></b>	查定 >	工事							>	•	低線量地区から順に復旧を進め る。 平成26年度の完了を目指す。
住宅							İ					İ						
災害公営住宅(町内)	浪江町	新規事業	未実施	需要把握と復興まちづくり計画 の策定	需要把	復興計画	まちづく ・調査・		用地具施		造成· ▶	建設工事		<u> </u>			·>	平成28年度の完了を目指す。
津波被災地防災集団移転	浪江町	新規事業		需要把握・合意形成と復興まち づくり計画の策定	需要把	復! 計i	興まちづく 画・調査・ 	(i) 設計 <b>&gt;</b>	用地 実施	取得· 設計 	造成·	建設工事					·>	平成28年度の完了を目指す。
町営住宅 (既設·津島地区以外)	浪江町	未調査	未着手	除染を含めた線量の減衰を見 極めながら、調査を実施		調査	ļ		ļ		ļ	査定	工事			>	•	平成27年度の完了を目指す。 調査への入居者の立会い又は同 意が必要
除染																		
先行除染	围	実施中	事業の実施	事業の実施	除染	<b>&gt;</b>												警察署、消防署等
特別地域内計画	围	H24年11月 特別地域内除染実施計画 策定	計画の策定	事業の実施			実施計画	画に基づく <b>&gt;</b>										
仮置場	围	選定中	選定作業	選定作業及び確保	仮置場	設		<b></b>			<del> </del>		•					
災害廃棄物処理																		
対策地域内廃棄物処理	国	災害廃棄物発生量:17万8千t	<ul><li>・災害廃棄物発生状況、仮置場候補地、仮設焼却炉設置候補地等の実地調査を実施・津波被災地の散乱したガスボンベを回収等</li></ul>	・仮置場の設置 ・仮設焼却炉の設置 等	Ē	整中												国の直轄処理については、夏頃を 目途に全体の処理見通しを明らか にする。